

理工学研究所・研究開発機構研究発表会

Annual Joint Meeting of ISE and RDI of CHUO UNIV.

日 時	2016年12月 1日(木)	
	15:30~16:30 ポスター展示(自由見学) *15:30~ Coffee Hour	16:30~18:00 ポスターセッション(発表者全員参加) *17:00~ Light Meal
共 催	中央大学理工学研究所・中央大学研究開発機構	
場 所	中央大学後楽園キャンパス 3号館 10階 大会議室(31008号室)	
発表方法	ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。	
参 加	参加無料。ご自由にお入りください。	
問 合 せ 先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678 / FAX(03)3817-1677	

◇17:00 ご挨拶 ◆理工学研究所長 鎌倉 稔成 ◆研究開発機構長 築山 修治	◇18:00 ご挨拶 ◆理工学研究科委員長 石井 靖
--	-------------------------------

● 共同研究第1類

	研究代表者	所属	研究テーマ
1	加藤 俊一	経工	感性ロボティクス環境による共生社会基盤技術の研究開発
2	幡野 博之	人間	粉粒体を用いた加熱・冷却型身体刺激装置開発と健康維持効果の定量的評価
3	片山 建二	応化	次世代太陽電池デバイスの顕微解析装置の開発
4	新藤 斎	応化	固体表面の塑性変形・加工メカニズムのナノスケール～連続体を通じた理解
5	船造 俊孝	応化	超臨界混合流体を用いたキラル吸着分離過程のモデル化とパラメータ決定
6	福澤 信一	応化	新奇らせん型分子 N-ヘテロオルトフェニレンの合成・構造・応用に関する研究
7	趙 晋輝	情報	楕円暗号と認証システムに関する研究
8	箕浦 高子	生命	微小管ドラッグ感受性突然変異体によるチューブリン機能ドメインの同定
9	岩館 満雄	生命	タンパク質リガンド相互作用実験データの Insilico における再現
10	芳賀 正明	応化	プロトン共役電子移動に基づくレドックス型蓄電池の構築

● 共同研究第2類

	研究代表者	所属	研究テーマ
11	松本 浩二	精密	オゾンマイクロバブル含有氷連続製造システムの実用化研究
12	中村 太郎	精密	人工筋肉を用いた可変粘弾性制御法の提案とその応用
13	小松 晃之	応化	蛋白質クラスターを用いた赤血球代替物(人工酸素運搬体)の開発
14	新妻実保子	精密	自律移動型電動車いすと人との協調を実現するインターフェース
15	國井 康晴	電気	遠隔管理運用のためのソフトウェア及び Cognitive Tele-Operation の検討
16	橋本 秀紀	電気	モバイル機器を含むユビキタス電力網の構築および運用に関する研究

● プロジェクト研究

	研究代表者	所属	研究テーマ
17	山田 正	都市	気候変動による河川・水環境への影響解明と適応策に関する研究 ~Cau 川を例として~

● 研究開発機構

	研究代表者	研究テーマ	ユニット責任者
1	檜山爲次郎	オキシアルキニル基が拓く炭素－水素結合活性化と含酸素環状化合物の構築	石井 洋一
	南 安規		
2	岩本 正和	大気圧非平衡プラズマ発生用の金属電極がアンモニア合成に高い触媒活性を示すことを発見	新藤 斎
	田中 大士		
	出口 隆		
3	松下 潤	Innovation in Resources-from-Waste for Asia/Pacific Region	山田 正
4	秋山 哲男	超高齢社会における集約都市づくりとインフラ整備	鹿島 茂
	丹羽 菜生		
	正田小百合		
5	渡邊 正孝	二国間クレジット制度(JCM)推進のための MRV に向けたモンゴルにおける GOSAT データの解析	志々目友博
	大場 章弘		
6	内田 龍彦	津波、土石流など激しい土砂輸送と流体混合を伴う新しい地形変化解析法への挑戦～GBVC 法と非平衡粗面抵抗則を用いた準三次元二相流解析法～	福岡 捷二
7	福田 朝生	数値移動床水路を用いた混合粒径土石流の構造物に作用する衝撃力	福岡 捷二
8	後藤 岳久	大量の土砂を伴う洪水流の斐伊川放水路への分流と土砂流入抑制に関する研究	福岡 捷二
9	竹村 吉晴	自由水面における渦度の生成と渦度生産(吸収)を考慮した水深積分モデルの開発	福岡 捷二
10	田端 幸輔	平成 27 年 9 月洪水における鬼怒川の流下能力、河道貯留に関する研究	福岡 捷二
11	新井 武二	ファイバーレーザによる高速切断加工－切断時における表面熱源の予熱部への関わり方－	新井 武二
12	久徳 康史	Japanese consumers' conceptualization and evaluation of two restaurant brands: a practical method to compare rivaling brands by examining correlation and difference	檀 一平太
13	水島 栄	fNIRS による小児の脳機能計測研究	檀 一平太
14	角田 篤泰	法令工学に基づく法令作成・検証の基盤構築	福原 紀彦

2015 年度に理工学研究所で行われた共同研究・プロジェクト研究および研究開発機構の研究発表です。RA 研究発表会も同時開催いたします。お気軽に会場までお越し下さい。